

2016年9月16日(金)

みらいへの扉



高等特別支援学校 支援部 第 87号

☺おみやげものがたり☺

2年生が修学旅行から帰ってきました。

「先生！うちの部って先生も入れて何人でしたか？」

会うなり聞いてきた生徒もいました。あ、おみやげを買ってきたから、気にしてくれるのね☺

☺先生も数に入れてくれてるんやね、ありがとう☺

部活動によって少しずつ様子が違いますが、2年生の生徒達からおみやげが配られます。まずは目上の顧問の先生に、そして昨年おみやげをくれた先輩達に、そして部全員に渡されます。

今までおみやげをもらう機会はたくさんあったと思いますが、まだ働いていない生徒達の多くは、自分が渡す立場になるのは修学旅行の時期くらいでしょう。

生徒達には“してあげる”側に立つ、つまり先輩側、大人側に立つ機会はあまりない事です。

だから“もらう”側の後輩たちが喜んで「おいしいです。ありがとうございます。」と食べている姿を見て、優しい先輩達はとても嬉しい気持ちになるようです。

そして後輩達も、たった1つ年上の先輩のおみやげを、来年は自分が“してあげる”側に立つ予感とともに味わいます。

そういう意味では、先生や大人達にもらうおみやげより意味があるかもしれませんね。

学校、というと先生達大人から学ぶことの価値の高さだけを過大評価する面がありますが、このように同学年、先輩後輩を含めた集団の学び合いの影響はとても大きいものです。

先輩が自分達を忘れずにおみやげを買って来てくれる。自分たちを大切にしてくれる。……だから自分もいい先輩になろう。あんな先輩のようになりたい。そういった気持ちが自分自身を高める目標になっていきます。

しかし、実際おみやげを買うのは、なかなか難しいことなのです。

個人的に買う生徒もいますが、部活動単位で、2年生でワリカンにしておみやげを買うことが多いようです。「ちょっと、みんなでどうするか決めよう」とリーダーシップを取ってくれる生徒がいると話が進みますが、全部をひとりでするのは荷が重すぎます。

おみやげを買うのに必要な力

①人数を把握しておく

部活に何人いるか？意外に分からないものです。数が足りないかも？というのは気になりますよね。

②何をかうか決める

もちろん生モノはダメですし、高すぎないとか重すぎないとか、おみやげに向くものを考えます。

③計算をする

箱菓子12個入りとか、20枚入りとか決められた個数になるので計算も必要です。ワリカンの際はお金の計算もします。

④一度自宅に持ち帰って、学校に持ってくる

くしゃくしゃにならないように工夫して持ち帰り、忘れないで学校に持って来ます。

生徒ひとりで4つ全てこなすにはハードルが高いようです。

真面目で几帳面な生徒は②が苦手なタイプがいますし、反対に「これにしよう！」と決めるリーダーシップがあっても

①③④が苦手なタイプもいます。

わが子はどうですか？

何が得意で、何が苦手そうですか？

苦手なことは、避けて通りたいですよ。

わが子となれば、避けて通してあげてくださいね。

目の前で、例えば、わが子がおみやげ選びに悩んでいれば「やってあげるよ」と言いたくなりますよね。

しかし、ちょっと待ってください。悩んでいる、という事は本人がそれをしてほしいと思っている、ということです。成長

のチャンスに直面しているのです。そのチャンスを奪うのは、もったいない。

周囲の大人達は、子どもが困っている姿を見ると先回りして助けてあげたい気持ちになりますが、ここでは我慢です。

自分でできる事を期待される、やりたいと思う



難しい、本人が困る(適切な困り感)



本人なりの手立てを打つ(考える、相談する等)



何をヒントにどう行動するか決める

こうやって、できる事が増えていくのでしょうか。

すべてをやり切るのが難しかったら、“①だけ手伝う”等、部分的に手伝う事も成長につながります。

②が苦手な人は、上手にネットの“おみやげランキング”を活用したり、③が苦手な人は、電卓を利用したり。そんなワザも覚えていくかもしれません。

今回の修学旅行、大人の最小限の手助けだけでしたごした旅行は、生徒達を成長させたことでしょう。

「私、ホワイトチョコレートがだめなんです！次は普通のチョコをおみやげにしてください。」

昔、1年生の生徒に言われてびっくりした言葉です。“もらう”側はラクで、勝手なことが言えます。でも、こんな言葉を会社に入っても言い続けるとしたら、それは心配です。

自分がおみやげを買う方の立場に立って苦勞したことがあれば、経験的にこんな事は言わないようになっていきます。

“若い時の苦勞は買ってでもせよ”や

“かわいい子には旅をさせよ”

できたことわざだなあ、と

ちょっと実感しますね。

